

【令和6年6月19日(水)】

令和6年6月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
1	佐々木直也	1 町長の考える「まちづくり」の中で、教育長に期待すること 2 子どもたちの学習環境について 3 ドローンを活用した新スマート物流事業について	町 長 町 長 町 長
2	野口直次	1 教育長の人事について 2 お茶の長期低迷の中で行政の取り組みについて 3 大鐵の復旧復興に対する町の考え方について	町 長 町 長 町 長
3	大竹勝子	1 安心して暮らせる保健医療体制を作るために 2 川根高校存続のために	町 長 町 長
4	中澤 莊也	1 認知症高齢者等の権利擁護と生活支援について 2 自然資源を活かした地域の活性化について 3 観光に関する課題への取組みにつて	町 長 町 長 町 長
5	中原 緑	1 大井川鐵道全線復旧など、観光戦略プランの推進について 2 人口減少について	町 長 町 長

※ 議員の質問の制限時間は、1回につき30分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

発言順 1 番

質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
佐々木直也	1 町長の考える「まちづくり」の中での教育長に期待すること	(1) 教育長が不在の状況になって二ヵ月。町長が考える「まちづくり」において、この状況からどのような影響があるか。 (2) 今後、教育長を任命するにあたって、教育長に期待することはどのようなことか。	町 長
	2 子どもたちの学習環境について	義務教育学校開校から二ヵ月。学校づくりの地盤固めの時期であると同時に、並行して検討し、進めていくべきことが数多くある。 (1) 「地域部活動」移行の進捗はどうか。 (2) 前教育長が任命した「川根本町授業づくり研究員」について、今年度も同じ方が就いている。町として期待することはどのようなことか。 (3) 南部の児童クラブは三ツ星学園の校舎内に設置されていて、手狭であること、保護者の方の送迎の駐車場が不足していると聞く。今後の対応は考えているか。 (4) 三ツ星学園に新設された渡り廊下が、雨風が強い日は濡れてしまって不便のようだが、対策は考えているか。 (5) 光の森学園の部活動では旧本川根中が使われていて、トイレが遠いこと、水道が飲用できないこと、整備が行き届かないことが不便のようだが、今後の対応は考えているか。 (6) 昨年度の一般質問で町長から「子ども議会」を今年度中に試験的に実施すると答弁があったが、進捗はいかがか。 (7) プロスポーツ団体との「パートナーシップ協定の締結」が進んでいるが、学校での企画など、具体的な動きはあるのか。	町 長
	3 「ドローンを活用した新スマート物流事業」について	町長の言う「町にとっての新しいインフラ」にしていくためには、住民の利便性の実感が必要だと思う。そのためには、商工会に協力いただくのが必要だと考える。現在、担当課はデジタル推進課であるが、商工の担当である産業振興課との連携はしているか、伺う。	町 長

発言順 2 番

質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の 相手
野口 直次	1 教育長人事について	(1) 現時点での町長の考えを伺う。 (2) 学校現場、教育委員会等において教育長不在によりどのような影響があるのか。 (3) 行政と議会がお互いに充分話し合いし、早期に人事を進めるべきではないか、伺う。	町 長
	2 お茶の長期低迷の中で行政の取り組みについて	(1) 「川根茶」のブランド維持の為、いろいろな角度から検討し、関係団体と協議しながら課題を掘り起こし、調査分析し早急に新規を含め農家存続の為の対策を講じてほしい。 (2) 今こそ、菌田町政が掲げている、販路拡大事業に期待する、見通しを含め展開を伺う。	町 長
	3 大鐵の復旧復興に対する町の考え方について	(1) 「大井川鉄道全線復旧・復興に向けたまちづくり意見交換会」と全線復旧・復興との関連・整合性及び、この会の位置づけ等内容を含め、町の考え方を伺う。 (2) 私の一般質問で、仮に「大鐵全線復旧期成同盟会」の設立を提案したが、この会の開催にあたり、町としてその関連はどの様に理解して、対外的も含め、進めていくのかを伺う。 (3) 大鐵支援の会は地道に、地域の協力の下で、署名活動等継続している。今後も町が中心に、住民・議会と一緒に相互理解をしながら、陳情等運動を皆で展開してほしい。考えを伺う。	町 長

発言順 3 番

質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の 相手
大竹 勝子	1 安心して暮らせる保健医療体制を作るために	(1) 町内に 5 箇所の診療所があり、それぞれ献身的に診療に当たっておられますが、御高齢になり、後継者問題も深刻となっている診療所もある。どのような話し合いをしているか。 (2) 千頭温泉を活かし、町民の悲願であるリハビリも兼ねた療養型の入院できる有床診療所を、先生方の理解と協力、助言を頂きながら、連携して整備することができないか。 (3) 透析が必要な方の治療ができる施設も、災害の時など町外に通行止めで行かれなくなる可能性もあるため必要になってくると思われるが、どのように考えているか。	町 長
	2 川根高校存続のために	(1) 募集定員を 80 人から 40 人に減らしたが、それでも定数割れしている状況をどう考えるか。 (2) なぜ地元の子供が、川根高校を選ばない理由をどう考えているか。どんな対策が必要だと考えているか。 (3) ヘルパー育成科、介護福祉科、林業科等、地域に根ざした専門の学科を取り入れることはできないか。	町 長

発言順 4 番

質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の 相手
中澤 莊也	1 認知症高齢者等の権利擁護と生活支援について	(1) 認知症高齢者等の権利擁護に欠かせない成年後見制度の利用促進を如何にして図っていく考えか。 (2) 認知症サポーターの養成とその活用をどのように進めていくか。 (3) 本年度設置した成年後見支援センターの役割と行政の関わりはどのようなになっているのか。 (4) 地域での認知症高齢者等を見守る厚生労働省が進める「チームオレンジ」を組織する考えはあるか。 (5) 成年後見制度の利用促進のため認知症高齢者等の見守りネットワークを構築する考えはあるか。	町 長
	2 自然資源を活かした地域の活性化について	(1) ユネスコエコパーク登録 10 周年記念事業として南アルプスの豊かな大自然を体感できるヘリによる空中遊覧を企画し、十山等と連携して実施する考えはないか。 (2) 本年度ユネスコエコパーク登録 10 周年記念事業の一つとして実施したヤマセミ実態調査を来年度以降においても実施していく考えはあるか。 (3) 豊かな自然のシンボルとしてヤマセミを町の活性化や PR 活動に利用しようとする考えはないか。	町 長
	3 観光に関する課題への取組みにつて	(1) 町全体を回れる周遊コースや大井川流域の他自治体と協力した周遊コースの開発をどのようにしていく考えであるか。	町 長

発言順 5 番

質問者	質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の 相手
中原 緑	1 大井川鐵道全線復旧 など、観光戦略プラン の推進について	(1) 観光立町を標榜する当町にとって、観光戦略プランの積極的推進は急務である。特に新たな視点からの温泉利用、大井川鐵道の全線復旧は、「明るい希望の持てるまちづくり」実現のために、町が的確なリーダーシップをとり、官民一体となりプラン実現に向けて取り組む必要がある。その基本的姿勢、具体策について伺う。	町 長
	2 人口減少について	(1) 先ごろ、人口戦略会議で将来的に「消滅の可能性がある」 7 4 4 市町が新たに公表された。川根本町は 1 0 年前に消滅の可能性ありと診断され、今回は前回より「悪化」と分析された。その根拠となる具体的なデータは何と考えるか伺う。 (2) 調査によると、2 0 ～ 3 0 代の女性の地方圏から都市部への流出が続いていることが地方の結婚や出産が減っていると指摘している。当町の実態について 1 0 年間の人口動態等で示していただきたい。 (3) 当町における若い女性の流出について、人口減少と合わせて町はどう考えるのか。「消滅可能性市町」から脱却するためにどのような対策をとっていくのか伺う。	町 長